

温泉施設爆発

開業前「惨事の可能性」

調査会社指摘 親会社など搜索

東京都渋谷区の女性専用温泉施設「シエスパ」で起きた爆発事故で、施設の建築主、ユニマット不動産（東京・港）が開業前、天然ガスの濃度を測定した調査会社から、適切な対策を取らなければ「メタンガスによる爆発」が起き、大惨事になる可能性もある」という趣旨の指摘を受けていたことが二十六日、関係者の話で分かった。

警視庁捜査一課は同日「ガスの危険性をどの程度午後、開業当初、施設を運営していたユニマットコスモ（同）など十カ所を業務上過失致死容疑で家宅搜索した。同社の子会社で現在の運営会社、ユニマットビューティーアンドスパ（同）などはすでに搜索しており、両社にユニマット不動産が

調査会社は二〇〇五年三月、東京都北区の温泉掘削現場での天然ガス火災に不安感を持った住民の要請を受けたユニマット不動産の委託で濃度測定を実施。メタンガスの濃度が掘削穴の中で二・

五％、穴の周辺でゼロ％だったと報告した。調査会社はこの中で、換気と監視の必要性を指摘するとともに「大規模な温泉施設を運営するのであれば、メタンガスによる爆発で大惨事になる可能性がある」という趣旨の警告をしたという。ところが、ユニマット

不動産などは住民説明会で、「メタンガスの可燃域は五―一五％」として引火の可能性がないと強調。運営にあたっては「ガス検知器によるチェックを欠かさず行い、安全確保。捜査一課は天然ガス

の分離・排出装置の保守点検もほとんど行われていなかったとみている。一方、二十六日の搜索では、施設を設計・施工した大成建設の子会社で施設にガス分離装置や換気扇などを設置した大成設備（同・新宿）東京支店なども搜索。ガス関連設備の設置や点検の状況などを調べる。

日本経済新聞

夕刊
6月26日
(火曜日)

23面

渋谷スパ爆発事故 1週間

ガスの危険 伝わらず

9社搜索「検知の責任」どこに

東京都渋谷区の女性専用温泉施設「シエスパ」の温泉くみ上げ施設で3人が死亡した爆発事故から26日で1週間。施設を所有・運営するユニマツグループの安全意識の低さが浮き彫りになっている。天然ガスの危険性を認識しながら、なぜ検知を行っていなかったのか。警視庁はこの日午後、運営会社の親会社「ユニマツコスモ」(港区)やガス分離器設置業者など関係9社を一斉搜索し、業務上過失致死容疑で捜査を進める。

【鈴木泰広、川上晃弘、佐々木洋】

「ガス爆発の危険性も指摘した。なぜ現在の運営会社に伝わらなかったのか」。営業開始の約1年前、温泉掘削後に施設所有者「ユニマツ不動産」(港区)からガス濃度検知を依頼された千葉県内の会社の幹部は首をひねる。結果は安全データとして住民に伝えられた。「うちは作業中のガス濃度をチェックしただけ。営業後の安全も保証したように利用された」(以下丸山博撮影)。

シエスパの運営はユニマツ不動産から同じビルにあるグループ会社「ユニマツコスモ」を経て、昨春秋に「ユニマツヒューテリアンドSPA」に引き継がれた。事故当日の会見で宮田春美社長は「爆発の危険性はないと認識していた」と述べ、認識の甘さを露呈した。

コスモ社やユニマツ不動産などは詳細な説明を行わず、宮田社長を本部長とする「事故対策本

部」も「捜査中のため不確か」とは答えられなかった。と繰り返す。対策本部の構成メンバーすら「答えられない」という。誰の判断で検知器設置が見送られたかは分かっていない。

爆発は、源泉をガスと分離する「セパレーター」や、くみ上げた湯をためる源泉槽が設置された施設地下の部屋で発生したとみられる。ガスは配管や換気扇を通じて屋外に排出される

仕組になっていた。配管の亀裂からガスが室内に漏れだし、換気も不十分になったうえ、制御盤の火花などによって引火した可能性がある。配管の破損が激しく、捜査1課は破損時期を調べる。

今回の事故では、完成した温泉施設の安全対策の不備もクローズアップされた。環境省は法改正も念頭に対策強化を検討、総務省消防庁も全国の施設の実態調査に乗り出した。



爆発事故から1週間たち屋根にシートがかけられた温泉施設「シエスパ」の温泉くみ上げ施設―東京都渋谷区松濤で26日午前9時34分、本社ヘリから丸山博撮影

MAINICHI

新毎日

夕刊

渋谷スパ爆発1週間

で一週間。監視所捜査一課の調べなどでは、シエスバの開発から運営まで扱ったユニマットグループ内で天然ガスへの危険性が当初から認識されながら、十分な対策が取られなかった

監視の眼を以て

りくみ上げた源泉と天然ガスとを分離する装置など設備された一貯水塔内にガスが充満、制御盤やモーターから出た火花などが引火して爆発した疑いがある。施設は高松市街の一角にあり、燃焼対策で密閉状態になりやすい地下に装置が隠れていたといふ。

[illegible]

ユニツト
施工時
住民への約束守らず

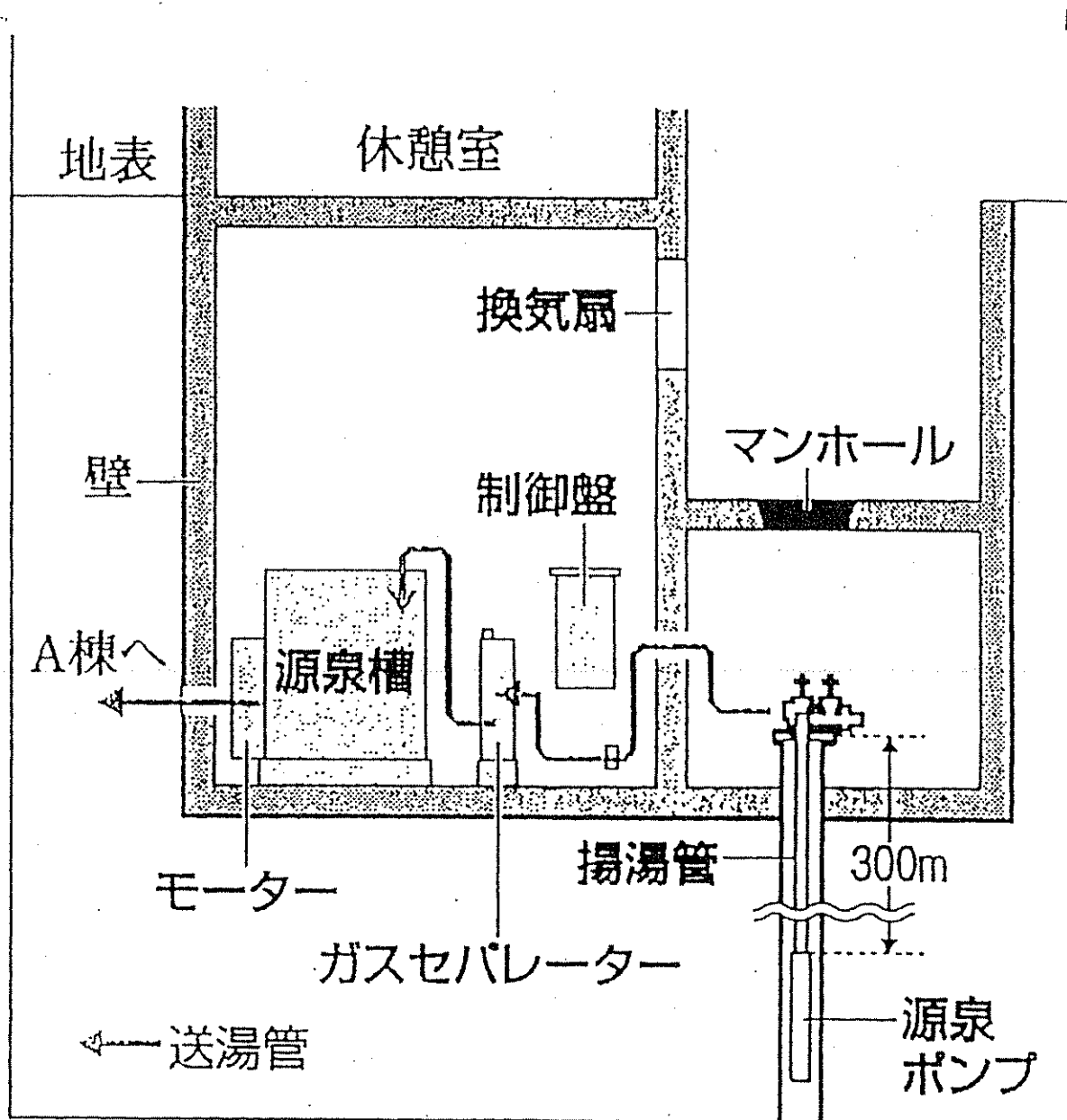
「下二階のみとは施設のガス源は、時間ごとに換知器で確認している。施設側の遠について、岡グループの「シエスパ事務対策本部」は「捜査中に答えられない」と堂々をいすばかりだ。

「換知器の針に捜査は長期化してよな。」



ユニマツトビューティィアンドスバなどグループ各社が入るビルに家宅捜索に入る警視庁の捜査員ら。20日、東京都港区で

シエスパ温泉汲み上げ施設見取り図



—新聞記事掲載より—

(6月25日 朝日新聞)